

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	全身疾病学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	1002
担 当 教 員	泉井 雅史ほか	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
小児の発達とそれに伴う小児疾患を学ぶ、また眼疾患と関連のある生活習慣病を中心とした全身疾患学を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
試験80%、平常点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
講師作成						
《授業外における学習方法》						
小児疾患とがん疾患が結びつくように眼疾患の知識をしっかりと復習しておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
臨床で活躍する小児科医や一般眼科を専門とする眼科医からの講義が中心となる。臨床での経験談も交えながら、眼疾患に関連のある全身疾患を学びます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環系疾患について学ぶ	PC、プロジェクター		眼疾患の復習
		各コマにおける授業予定	循環系疾患(高血圧・動脈硬化)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	糖尿病と眼疾患について関連づける	PC、プロジェクター		前回の復習
		各コマにおける授業予定	糖尿病			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液疾患について学ぶ	PC、プロジェクター		前回の復習
		各コマにおける授業予定	血液疾患(貧血・白血病)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌疾患を知る	PC、プロジェクター		前回の復習
		各コマにおける授業予定	内分泌疾患(甲状腺)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害、脳出血、脳梗塞について視機能の障害と関連づける	PC、プロジェクター		前回の復習
		各コマにおける授業予定	脳血管障害、脳出血、脳梗塞			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児の発育と発達について学ぶ	PC、プロジェクター	前回の復習
		各コマにおける授業予定	小児の発育と発達(形態発達、運動、言語、情緒など)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	先天異常、染色体異常、先天奇形などについて学ぶ	PC、プロジェクター	前回の復習
		各コマにおける授業予定	出生前小児科学(先天異常、染色体異常、先天奇形など)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	未熟児、分娩時異常、感染症などを学ぶ	PC、プロジェクター	前回の復習
		各コマにおける授業予定	新生児疾患(未熟児、分娩時異常、感染症など)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	小児糖尿病、小児肥満、小児生活習慣病など	PC、プロジェクター	前回の復習
		各コマにおける授業予定	代謝性疾患(糖尿病、肥満、小児生活習慣病など)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌疾患について学ぶ	PC、プロジェクター	前回の復習
		各コマにおける授業予定	内分泌疾患(下垂体疾患、甲状腺疾患など)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ウイルス感染症、細菌感染症について学ぶ	PC、プロジェクター	前回の復習
		各コマにおける授業予定	感染症疾患(ウイルス感染症、細菌感染症)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	アレルギー疾患について学ぶ	PC、プロジェクター	前回の復習
		各コマにおける授業予定	アレルギー疾患(アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、薬物アレルギー)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液疾患、腫瘍疾患について学ぶ	PC、プロジェクター	前回の復習
		各コマにおける授業予定	血液疾患、腫瘍疾患(網膜芽細胞腫)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼疾患を伴う小児疾患と症候群について結びつける	PC、プロジェクター	前回の復習
		各コマにおける授業予定	眼疾患を伴う小児疾患と症候群①		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼疾患を伴う小児疾患と症候群について結びつける	PC、プロジェクター	前回の復習
		各コマにおける授業予定	眼疾患を伴う小児疾患と症候群②		